

2月9日(土)、10日(日) 第69回南魚沼市雪まつりが開催されました

第69回南魚沼市雪まつりが開催され、雪の降るなか六日町大橋下の特設会場には2日間で約16,000人が訪れました。

今年は、例年行われているステージショーや雪像コンテストなどに加え、国際情報高等学校の生徒が企画したイベントが開催されました。生徒たちは、地域の菓子店と協力して作ったスイーツを販売するスイーツフェスティバルや手湯や足湯の設置、手すりなどの人工物の上をスキーやスノーボードで滑べるジブセッションなどを企画しました。当日は、多くの来場者が生徒たちの考えたイベントなどを楽しみました。



2月5日(火)、6日(水) 第56回全国中学校スキー大会 ジャンプ競技が開催されました

石打丸山シャンツェを会場に、第56回全国中学校スキー大会のジャンプ競技が行われました。5日(火)に男子スペシャルジャンプと初開催となる女子スペシャルジャンプが、6日(水)にノルディックコンバインドジャンプ(男女混合)が行われ、のべ123人の選手が大空を舞いました。

会場は、選手名の入ったのぼり旗や市内4中学校と湯沢中学校で作られた応援旗で飾られ、選手が美しく大きなジャンプをするたびに歓声に包まれました。競技後には、選手たちの涙する姿、抱き合う姿、お互いの健闘をたたえる姿がみられました。



1月27日(日) 文化財防火訓練を実施しました

1月26日の文化財防火デーにちなんで、八海神社〔九日町〕で文化財防火訓練を行いました。訓練では、八海神社の境内から出火した想定のもと、対策本部の設置、初期消火、消防署への通報、非常持出し品の搬出などを行い、最後に一斉放水による消火訓練を行いました。

林市長は「あつてはならないことですが、有事の際には消防署はもとより消防団や地域のみなさんと連携しながら地域を守っていくという覚悟が大切だと改めて感じました。訓練を通じて、市民全体の防火・防災意識の向上に努めたいと考えています。」と講評しました。



1月20日(日) 南魚沼市消防出初式を開催しました

市民会館で、平成31年南魚沼市消防出初式を行いました。式典には、消防団員、消防署職員、来賓など約600人が参加しました。

林市長は「全国で大きな災害を体験した首長たちは、市民に日ごろから自らの命を守る『自助』を意識してもらうことが重要だとおっしゃっていました。災害直後は、すべての人が被災します。一人ひとりの防災意識を高め、消防団や消防本部が連携して活動できる体制を構築していくことが重要であると考えます。市民を守るという強い決意のもと、一緒に地域を守っていきましょう」とあいさつしました。



1月13日(日)・14日(月・祝) 「雪見展」が開催されました

池田記念美術館を会場に、個性豊かな作品が揃う真冬のクラフトマーケット「雪見展」が開催されました。手作りの雑貨やアクセサリ、体験ができるワークショップ、飲食販売など2日間で約60店舗が出店しました。

訪れた人は、気になる販売店の前で足を止め、お気に入りの雑貨や食べ物を見つけたり、お店の人と会話を弾ませながら商品を選んでいました。子どもたちは、ワークショップで個性豊かな缶バッチなどの作品を作ったり、美術館にある「風の又三郎」像のデッサンに真剣な表情で挑戦していました。

